

長野市自転車活用推進計画策定業務

[アンケート調査結果（中間報告）]

（速報・一次集計結果）

令和元年 12 月

長 野 市

目次

第1章 市民向けアンケート	1
1. 調査概要.....	1
2. 回答者属性.....	2
3. 集計結果.....	5
第2章 高校生向けアンケート	21
1. 調査概要.....	21
2. 回答者属性.....	22
3. 集計結果.....	24

第1章 市民向けアンケート

1. 調査概要

1-1. 目的

長野市自転車活用推進計画の策定にあたり、長野市内の自転車交通の現状及び市民等の意識を把握し、計画策定に反映させることを目的として実施した。

1-2. 調査の方法・手順

アンケート調査概要については、以下のとおりである。

- 調査対象 長野市内在住者（20歳以上） 2,639人
- 調査方法 郵送による配布及び回収
- 調査期間 令和元年11月13日（水）～12月2日（月）

1-3. 回答数

アンケート票の配布数及び回収結果を下表に示す。

有効回答数は930サンプル、回収率は35.2%であった。誤差率は3.2%で基準値（5%）以下であった。

表 配布・回収結果

配布数	2,639	
有効回答数	930	
回収率	35.2%	
誤差率（信頼度95%）	3.2%	母集団：276,690人 （長野市地区別年齢別人口 令和元年10月1日現在の19 ～79歳人口）

【参考】誤差率の計算方法

- アンケート調査は標本調査であり、一定の範囲で誤差が含まれる可能性がある。それは下記の式によって与えられる。（信頼度95%）

$$\text{誤差率} = 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p \times (1-p)}{n}}$$

（1.96 信頼区間、N=母集団、n=標本数、p=母比率）

※pは0.5のとき最大となるので、以下の計算では0.5とする。

2. 回答者属性

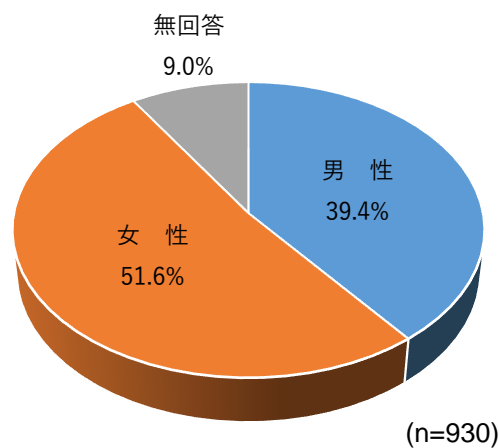
回答者の属性は、次のとおりである。なお、割合は四捨五入の関係で合計が100%にならないことがある。

2-1. 性別

男性 39.4%、女性が 51.6%で女性の方が多かった。

	回答数	比率
男性	366	39.4%
女性	480	51.6%
無回答	84	9.0%
回答者数	930	100.0%

(n=930)

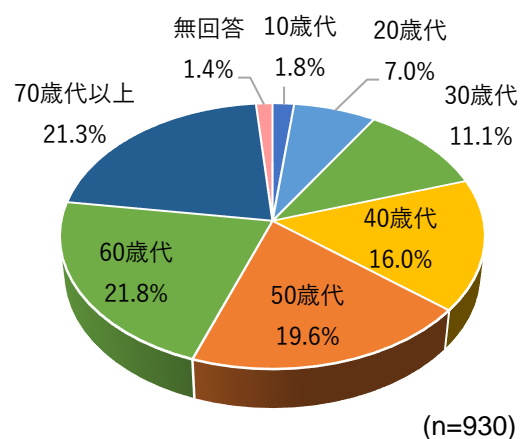


2-2. 年代

60歳代が最も多く、全回答者の21.8%であった。次いで70歳代以上(21.3%)、50歳代(19.6%)の順であり、50歳代以上で全体の約63%を占めた。

	回答数	比率
10歳代	17	1.8%
20歳代	65	7.0%
30歳代	103	11.1%
40歳代	149	16.0%
50歳代	182	19.6%
60歳代	203	21.8%
70歳代以上	198	21.3%
無回答	13	1.4%
回答者数	930	100.0%

(n=930)

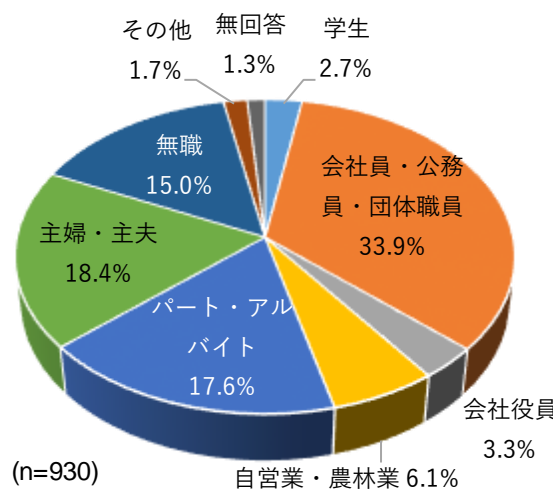


2-3. 職業

会社員・公務員・団体職員が最も多く、33.9%であった。次いで主婦・主夫（18.4%）、パート・アルバイト（17.6%）の順に多かった。

	回答数	比率
学生	25	2.7%
会社員・公務員・団体職員	315	33.9%
会社役員	31	3.3%
自営業・農林業	57	6.1%
パート・アルバイト	164	17.6%
主婦・主夫	171	18.4%
無職	139	15.0%
その他	16	1.7%
無回答	12	1.3%
回答者数	930	100.0%

(n=930)



(n=930)

2-4. 居住地区

回答者の居住地区を下表に示す。篠ノ井地区が最も多く、10.4%であった。次いで川中島地区（10.3%）、更北地区（8.7%）の順に多く、この3地区はいずれも犀南地域に含まれる。

表 地区別回収数

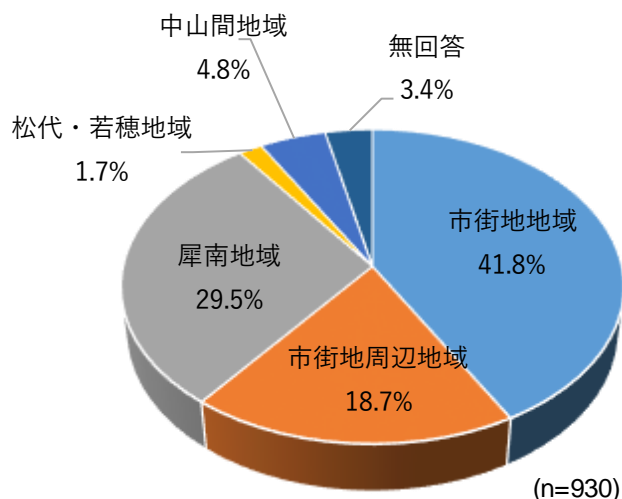
地域	地区	回答数	比率	地域	地区	回答数	比率	地域	地区	回答数	比率		
市街地	第一	25	2.7%	市街地周辺	古里	27	2.9%	※1	松代	0	0.0%		
	第二	30	3.2%		柳原	27	2.9%		若穂	16	1.7%		
	第三	14	1.5%		浅川	14	1.5%		中山間	小田切	1	0.1%	
	第四	11	1.2%		大豆島	28	3.0%			芋井	8	0.9%	
	第五	9	1.0%		朝陽	38	4.1%			七二会	6	0.7%	
	芹田	65	7.0%		若槻	40	4.3%			信更	3	0.3%	
	古牧	67	7.2%		長沼※2	0	0.0%			戸隠	6	0.7%	
	三輪	55	5.9%		豊野※2	0	0.0%			鬼無里	5	0.5%	
	吉田	56	6.0%		犀南	篠ノ井※2	97			10.4%	大岡	4	0.4%
	安茂里	57	6.1%			川中島	96			10.3%	信州新町	9	1.0%
			更北	81		8.7%	中条	3		0.3%			
								無回答		32	3.4%		

※1：松代・若穂地域

※2：長沼地区、豊野地区、篠ノ井地区の一部は災害発生のため配布対象としなかった。

地域別では、市街地地域が最も多く、41.8%と4割以上を占めた。次いで犀南地域(29.5%)、市街地周辺地域(18.7%)の順であった。

	回答数	比率
市街地地域	389	41.8%
市街地周辺地域	174	18.7%
犀南地域	274	29.5%
松代・若穂地域	16	1.7%
中山間地域	45	4.8%
市外	0	0.0%
無回答	32	3.4%
回答者数	930	100.0%

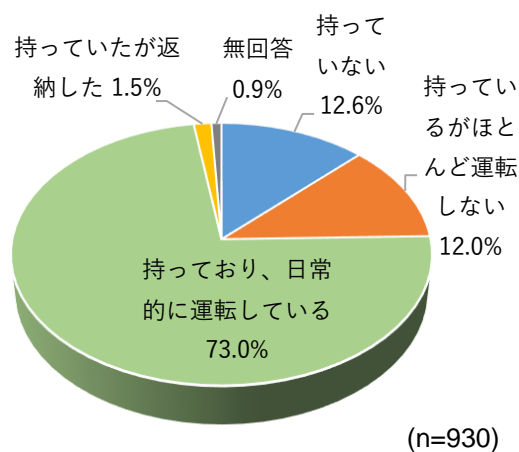


2-5. 自動車運転免許保有状況

「持っており、日常的に運転している」が最も多く、73.0%と1/4近くを占めた。次いで「持っていない」(12.6%)、「持っているがほとんど運転しない」(12.0%)の順であった。

	回答数	比率
持っていない	117	12.6%
持っているがほとんど運転しない	112	12.0%
持っており、日常的に運転している	679	73.0%
持っていたが返納した	14	1.5%
無回答	8	0.9%
回答者数	930	100.0%

(n=930)



(n=930)

3. 集計結果

3-1. 自転車の保有と利用の状況について

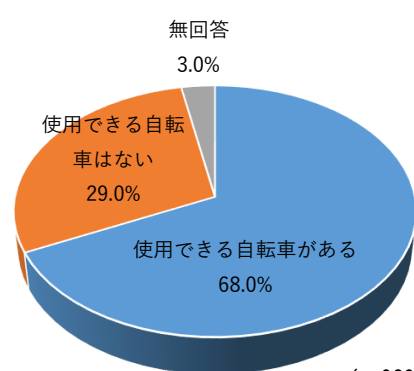
【問6】あなたは、使用できる自転車を保有していますか？（1つ選び○）

◇ 7割近くが使用できる自転車を保有している。

「使用できる自転車がある」が68.0%と7割近くであった。一方、「使用できる自転車はない」は29.0%であり、大半の人が自転車を保有している様子がうかがえる。

	回答数	比率
使用できる自転車がある	632	68.0%
使用できる自転車はない	270	29.0%
無回答	28	3.0%
回答者数	930	100.0%

(n=930)



(n=930)

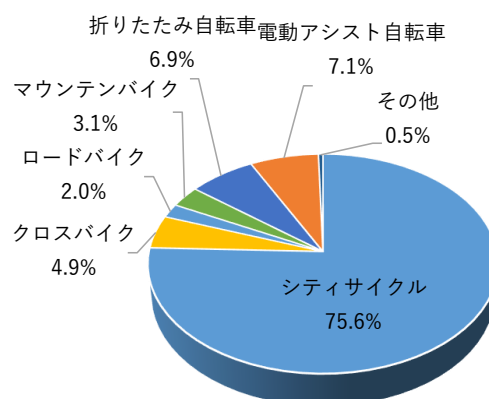
【問7】※問6で「1. 使用できる自転車がある」と回答した方のみ
あなたは、どのような自転車を保有していますか？（1つ選び○）

◇ 自転車所有者の大半がシティサイクルを所有している。

638名から回答が寄せられた。シティサイクルが最も多く、75.6%と1/4を占めた。他はいずれも10%未満であり、電動アシスト自転車(7.1%)、折りたたみ自転車(6.9%)の順に多かった。

	回答数	比率
シティサイクル	482	75.6%
クロスバイク	31	4.9%
ロードバイク	13	2.0%
マウンテンバイク	20	3.1%
折りたたみ自転車	44	6.9%
電動アシスト自転車	45	7.1%
その他	3	0.5%
回答者数	638	100.0%

(n=638)



(n=638)

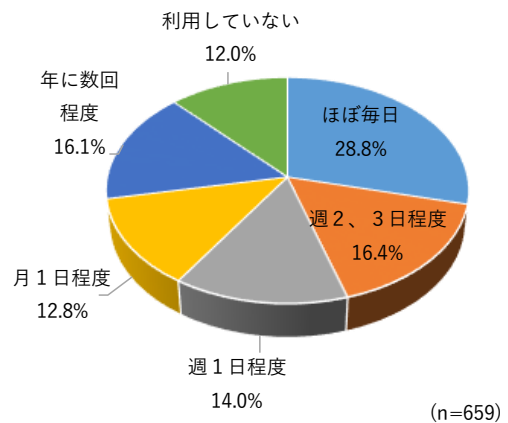
【問8】あなたが保有する自転車は、どのくらいの頻度で利用しますか？（1つ選び○）

◇ 日常的に使用する人は全体の半分弱。

「ほぼ毎日」が最も多く、28.8%と3割近くであった。2番目に多い「週2、3日程度」（16.4%）と合わせ、日常的に自転車を使用している人は回答者の45.2%と半数近くであった。3番目に多かったのは「年に数回」（16.1%）であった。

	回答数	比率
ほぼ毎日	190	28.8%
週2、3日程度	108	16.4%
週1日程度	92	14.0%
月1日程度	84	12.8%
年に数回程度	106	16.1%
利用していない	79	12.0%
回答者数	659	100.0%

(n=659)



【問9】あなたが自転車を主に利用する目的は何ですか？（1つ選び○）

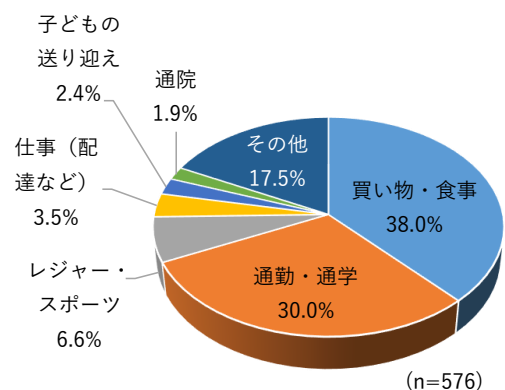
◇ 「買い物・食事」と「通勤・通学」が7割近く。

「買い物・食事」が最も多く、38.0%と4割近くであった。次いで「通勤・通学」（30.0%）、「レジャー・スポーツ」（6.6%）の順であった。

「その他」としては、「地区内の仕事」、「畑・家庭菜園・田の見回り」、「ごみ出し」、「近所への用事」、「子どもの学校へ行く時」、「運動」などの意見が寄せられた。

	回答数	比率
買い物・食事	219	38.0%
通勤・通学	173	30.0%
レジャー・スポーツ	38	6.6%
仕事（配達など）	20	3.5%
子どもの送り迎え	14	2.4%
通院	11	1.9%
その他	101	17.5%
回答者数	576	100.0%

(n=576)



【問 10】あなたが自転車を利用する主な理由はどのようなことですか？（3つまで選び○）

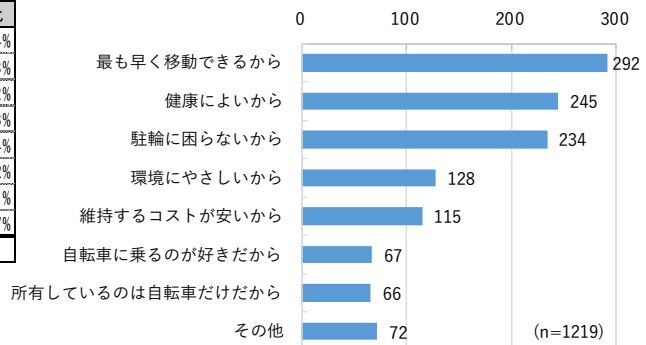
◇ 自転車が快適で健康に良いと認識されている。

「最も早く移動できるから」が最も多く、回答者の 31.4%と 3 割近くであった。次いで「健康に良いから」(26.3%)、「駐輪に困らないから」(25.2%) の順であった。

「その他」としては、「目的地が近い」、「駐車場がない」、「車で行くほどではない」、「節約になる」などの意見が寄せられた。

	回答数	回答者比
最も早く移動できるから	292	31.4%
健康によいから	245	26.3%
駐輪に困らないから	234	25.2%
環境にやさしいから	128	13.8%
維持するコストが安いから	115	12.4%
自転車に乗るのが好きだから	67	7.2%
所有しているのは自転車だけだから	66	7.1%
その他	72	7.7%
回答者数	1,219	—

(n=1219)



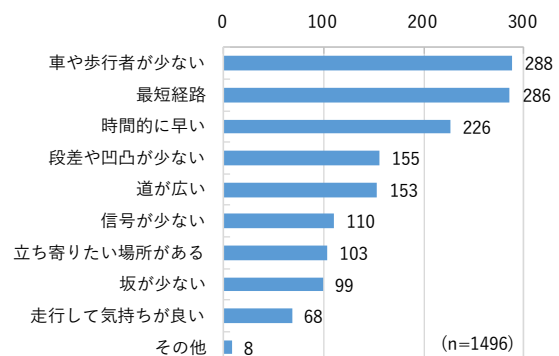
【問 11】あなたは自転車の走行ルートを選ぶ際にどのような点を重視しますか？（3つまで選び○）

◇ 車や歩行者が少ない道、最短経路が選択されている。

「車や歩行者が少ない」が最も多く、回答者の 31.0%が回答した。次いで「最短経路」が 30.8%、「時間的に早い」(24.3%) の順であり、上位 3 位までの回答は前問の自転車を利用する理由で最も多かった「最も早く移動できるから」と関連している。

	回答数	回答者比
車や歩行者が少ない	288	31.0%
最短経路	286	30.8%
時間的に早い	226	24.3%
段差や凹凸が少ない	155	16.7%
道が広い	153	16.5%
信号が少ない	110	11.8%
立ち寄りやすい場所がある	103	11.1%
坂が少ない	99	10.7%
走行して気持ちが良い	68	7.3%
その他	8	0.9%
回答数	1,496	—

(n=1496)



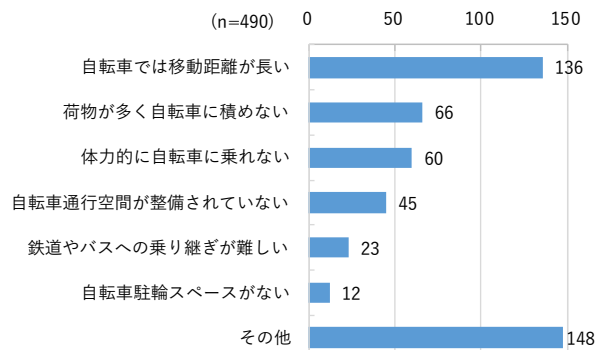
【問12】※問6で「2. 利用できる自転車はない」または問8で「6. 利用していない」と回答した方のみ
 あなたが自転車を利用していない理由はどのようなことですか？
 (あてはまるもの全て選び○)

◇ 自転車を利用しない理由は「移動距離が長い」「荷物が積めない」「持っていない」「必要性がない」などが多い。

「自転車では移動距離が長い」が最も多く、回答者の14.6%が回答した。次いで「荷物が多く自転車に積めない」(7.1%)、「体力的に自転車に乗れない」(6.5%)の順であった。「その他」の回答では「必要性がない」「車の方が便利」「坂道が多く乗れない」「子どもと出かけるため」「自転車を持っていない」といった回答が寄せられた。

	回答数	回答者比
自転車では移動距離が長い	136	14.6%
荷物が多く自転車に積めない	66	7.1%
体力的に自転車に乗れない	60	6.5%
自転車通行空間が整備されていない	45	4.8%
鉄道やバスへの乗り継ぎが難しい	23	2.5%
自転車駐輪スペースがない	12	1.3%
その他	148	15.9%
回答者数	490	—

(n=490)

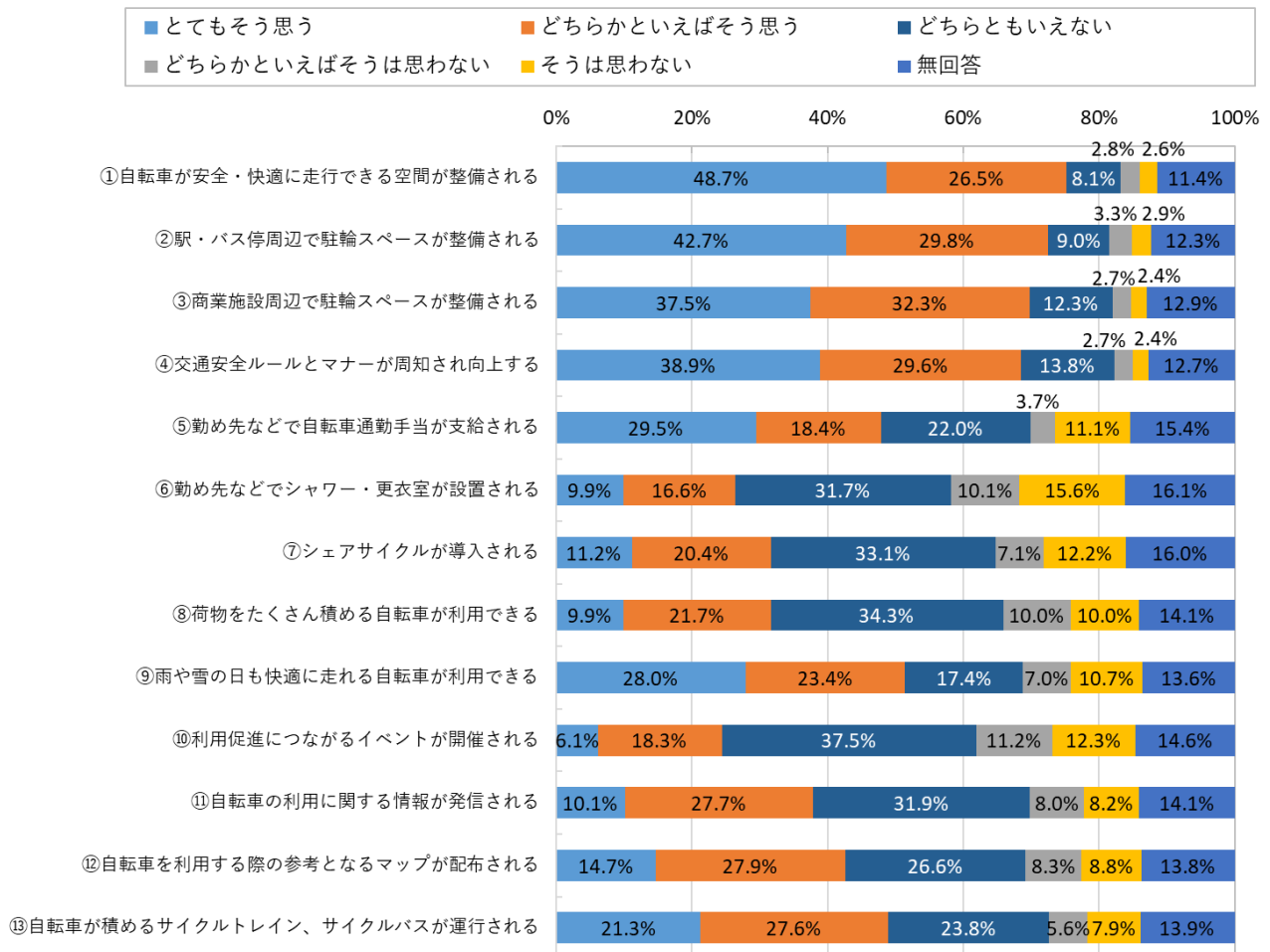


【問13】どのようになれば、今後もっと自転車を利用するようになると思いますか？
(1つ選び○)

◇ 自転車利用の促進につながる取組は「自転車通行空間の整備」「駐輪スペースの整備」など。

肯定的な意見（「とてもそう思う」及び「どちらかといえばそう思う」）が最も多かった項目は、「①自転車が安全・快適に走行できる空間が整備される」で、合計75.2%であった。次いで「②駅・バス停周辺で駐輪スペースが整備される」（72.5%）、「③商業施設周辺で駐輪スペースが整備される」（69.8%）の順であった。

一方、否定的な意見（「どちらかといえばそうは思わない」及び「そうは思わない」）が最も多かったのは「⑥勤め先などでシャワー・更衣室が設置される」で合計25.7%であった。次いで、「⑩利用促進につながるイベントが開催される」（23.4%）、「⑧荷物をたくさん積める自転車が利用できる」（20.0%）の順であった。



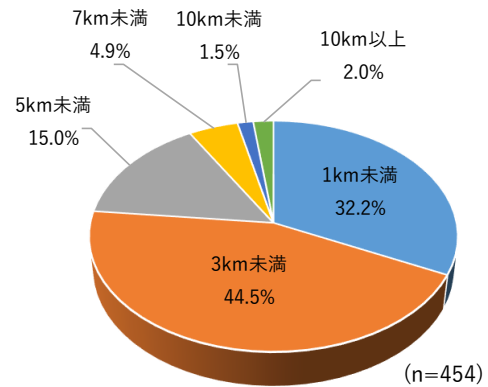
【問14】あなたが自転車をよく利用する区間はどこからどこまでですか？出発地と目的地、経路地として目印になるものがありましたら記入してください。また、走行するおおよその距離と、鉄道またはバスへの乗り継ぎの有無を記入してください。

この設問では、回答として概略図を描いていただき、大まかな利用ルート of 把握に努めた。回答については現在集計・整理中である。

おおよその利用距離についての集計結果は以下に示す。「3km未満」が最も多く、全回答の44.5%であった。次いで「1km未満」(32.2%)、「5km未満」(15.0%)の順であった。

	回答数	比率
1km未満	146	32.2%
3km未満	202	44.5%
5km未満	68	15.0%
7km未満	22	4.9%
10km未満	7	1.5%
10km以上	9	2.0%
回答者数	454	100.0%

(n=454)



(n=454)

また、鉄道及びバスへの乗り継ぎについての集計結果は以下の通りであった。問14の回答者のうち、「鉄道に乗り継ぐ」と回答した人は45人(9.9%)、「バスに乗り継ぐ」と回答した人は11人(2.4%であった。)

	回答数	比率
鉄道に乗り継ぐ	45	9.9%
バスに乗り継ぐ	11	2.4%
「乗り継ぐ」の回答なし	400	87.7%
回答者数	456	100.0%

出発地は「自宅」がこの設問について回答した方の98.2%とほとんどであった。

また目的地は、「会社・職場・勤務先」「長野駅」「スーパー」などが多かった。

(詳細については現在集計中)

3-2. 安全で快適な自転車の利用について

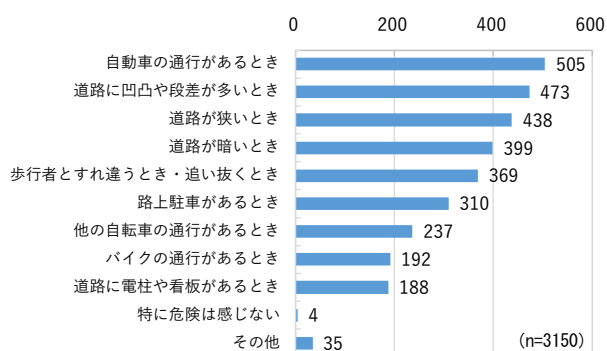
【問15】あなたは、自転車で走行する時にどのような危険を感じますか？
(あてはまるもの全て選び○)

◇ 自動車の通行があるとき、道路に凹凸や段差があるとき、道路が狭いときなどに危険を感じている人が多い。

最も多かった「自動車の通行があるとき」の回答数は505件であり、回答者に占める割合は半数以上の54.3%が回答した。次いで多かったのは「道路に凹凸や段差が多いとき」で半数以上の50.9%であった。また、「道路が狭いとき」(回答者比47.1%)、「道路が暗いとき」(同42.9%)等も比較的多い回答であった。

「その他」としては、「道路の穴」、「雨天・積雪・凍結」、「見通しの悪い交差点」、「側溝」などの意見が寄せられた。

	回答数	回答者比
自動車の通行があるとき	505	54.3%
道路に凹凸や段差が多いとき	473	50.9%
道路が狭いとき	438	47.1%
道路が暗いとき	399	42.9%
歩行者とすれ違うとき・追い抜くとき	369	39.7%
路上駐車があるとき	310	33.3%
他の自転車の通行があるとき	237	25.5%
バイクの通行があるとき	192	20.6%
道路に電柱や看板があるとき	188	20.2%
特に危険は感じない	4	0.4%
その他	35	3.8%
回答数	3,150	—



【問 16】あなたは、歩行中や車での走行時に、自転車のどのような運転に対して危険を感じますか？（あてはまるもの全て選び○）

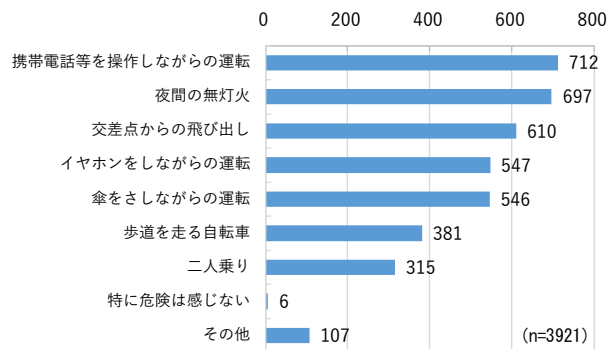
◇ 携帯電話等を操作しながらの運転、夜間の無灯火、交差点からの飛び出しなどが特に多い。

最も多かった「携帯電話等を操作しながらの運転」の回答数は 712 件であり、回答者に占める割合は全体の 1/4 を超える 76.6% が回答した。次いで多かったのは「夜間の無灯火」で 1/4 近い 74.9% であった。また、「交差点からの飛び出し」（回答者比 65.6%）、「イヤホンをしながらの運転」（同 58.8%）等も比較的多い回答であった。

「その他」としては、「高齢者の運転」、「歩道から車道への飛び出し」、「並走」、「信号無視」、「車道を走る自転車」、「急な進路変更・道路横断」、「右側走行」、「スピードの出し過ぎ」などの意見が寄せられた。

	回答数	回答者比
携帯電話等を操作しながらの運転	712	76.6%
夜間の無灯火	697	74.9%
交差点からの飛び出し	610	65.6%
イヤホンをしながらの運転	547	58.8%
傘をさしながらの運転	546	58.7%
歩道を走る自転車	381	41.0%
二人乗り	315	33.9%
特に危険は感じない	6	0.6%
その他	107	11.5%
回答数	3,921	—

(n=3921)



【問 17】あなたは、長野市内を自転車で走行するときに危険だと思う箇所がありますか？

この設問も問 14 と同様に概略図を描いていただいた。寄せられた回答については現在整理中である。

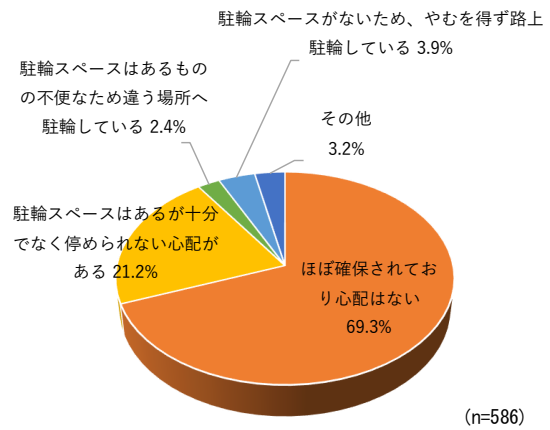
【問18】 自転車によく出かける先には、自転車駐輪スペースが確保されていますか？
(1つ選び○)

◇ 駐輪スペースについては半数以上が心配していない。

回答者のうち半数以上の69.3%が「ほぼ確保されており心配はない」と回答した。一方、「駐輪スペースはあるものの十分でなく停められない心配がある」は21.2%であった。

	回答数	比率
ほぼ確保されており心配はない	406	69.3%
駐輪スペースはあるが十分でなく停められない心配がある	124	21.2%
駐輪スペースはあるものの不便なため違う場所へ駐輪している	14	2.4%
駐輪スペースがないため、やむを得ず路上駐輪している	23	3.9%
その他	19	3.2%
回答者数	586	100.0%

(n=586)



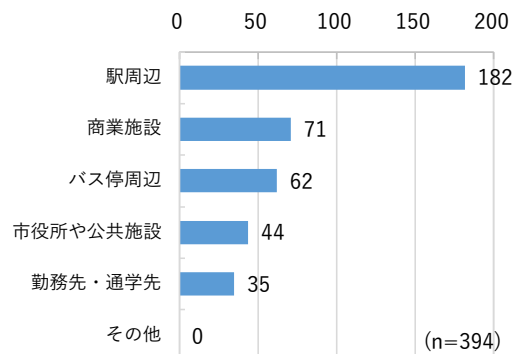
【問19】 今後、駐輪スペースの整備が必要な場所はありますか？
(あてはまるもの全て選び○)

◇ 駅周辺での駐輪スペース整備の要望が比較的高い。

最も多かったのは「駅周辺」で、回答者比で19.6%と回答者の2割近くが回答した。次いで、「商業施設周辺」(7.6%)、「バス停周辺」(6.7%)の順であったものの、2番目以降は10%未満であった。

	回答数	回答者比
駅周辺	182	19.6%
商業施設	71	7.6%
バス停周辺	62	6.7%
市役所や公共施設	44	4.7%
勤務先・通学先	35	3.8%
その他	0	0.0%
回答者数	394	—

(n=394)



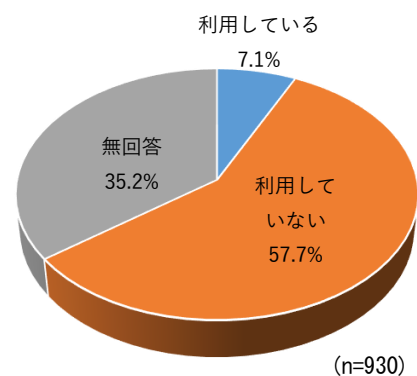
【問20】あなたは、市営駐輪場を利用していますか？（1つ選び○）

◇ 回答者のうち市営駐輪場利用者は1割未満。

回答者のうち「利用している」は1割未満の7.1%、「利用していない」が半数以上の57.7%であった。

	回答数	比率
利用している	66	7.1%
利用していない	537	57.7%
無回答	327	35.2%
回答者数	930	100.0%

(n=930)



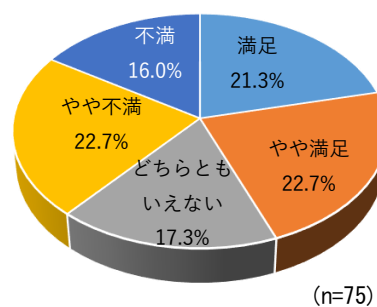
【問21】利用している市営駐輪場の満足度はいかがですか？（1つ選び○）

◇ 市営駐輪場の満足度は満足が若干高い。

市営駐輪場の満足度については75名から回答があった。そのうち、「やや満足」と「やや不満」が同じく22.7%で最も多かった。「満足」は21.3%、「不満」は16.0%であった。「満足」及び「やや満足」の合計が44%で「不満」及び「やや不満」の合計（38.7%）よりも若干高かった。

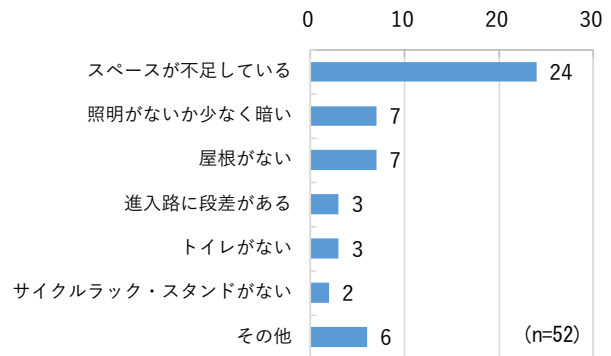
	回答数	比率
満足	16	21.3%
やや満足	17	22.7%
どちらともいえない	13	17.3%
やや不満	17	22.7%
不満	12	16.0%
回答者数	75	100.0%

(n=75)



また、市営駐輪場の不満な点について聞いたところ、「スペースが不足している」が最も多く、「照明がないか少なく暗い」「屋根がない」が比較的多かった。

	回答数
スペースが不足している	24
照明がないか少なく暗い	7
屋根がない	7
進入路に段差がある	3
トイレがない	3
サイクルラック・スタンドがない	2
その他	6

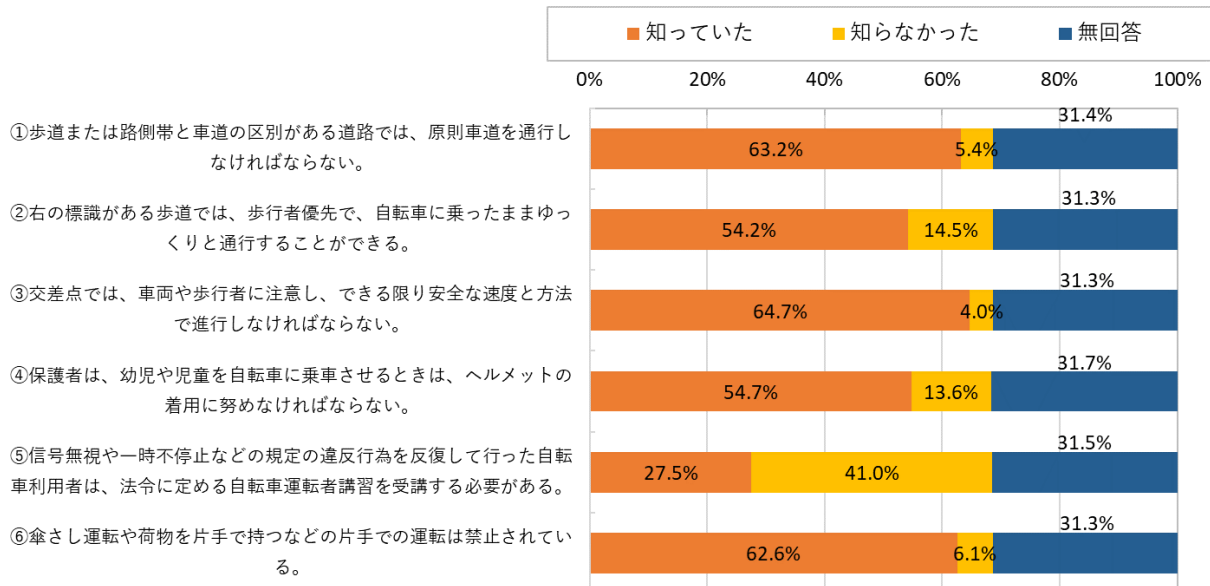


3-3. 自転車を利用する上での安全の確保について

【問 2 2】あなたは、以下の自転車の交通ルールを知っていますか？（1つ選び○）

◇ 違反行為を反復した場合に自転車運転者講習を受講する必要があることは認知度が低い。

自転車の交通ルールについては全体的に認知されており、1つの項目を除いて「知っている」が50%以上であった。「⑤信号無視や一時不停止などの規定の違反行為を反復して行った自転車利用者は、法令に定める自転車運転者講習を受講する必要がある。」は「知っている」が27.5%と3割に満たなかった。



【問23】あなたは、自転車のルール等を教わる交通安全教室を受けたことがありますか？
(1つ選び○)

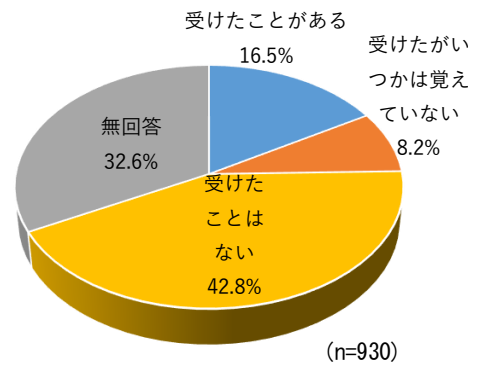
- ◇ 交通安全教室は受けたことがない人が半数近い。
- ◇ 受けた人も大多数は10年以上前。

交通安全教室は「受けたことがない」が42.8%で回答者の半数近くを占めた。無回答も合わせると1/4になることから、大半の人は受けたことがないと考えられる。「受けたことがある」は16.5%、「受けたがいつかは覚えていない」が8.2%であった。

また、いつ受けたかについては、1/4近い人が「10年以上前」と回答した。受けたことがあったとしても、近年のルールの改正については把握していない可能性が高い。

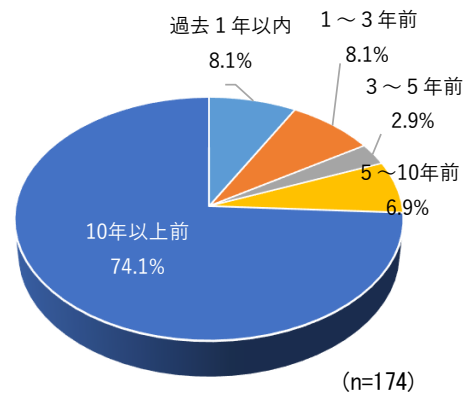
	回答数	比率
受けたことがある	153	16.5%
受けたがいつかは覚えていない	76	8.2%
受けたことはない	398	42.8%
無回答	303	32.6%
回答者数	930	100.0%

(n=930)



	回答数	比率
過去1年以内	14	8.1%
1～3年前	14	8.1%
3～5年前	5	2.9%
5～10年前	12	6.9%
10年以上前	129	74.1%
回答者数	174	100.0%

(n=174)



【問24】自転車のルールやマナーを向上させるために、あなたはどのような取り組みが必要だと思いますか？（3つまで選び○）

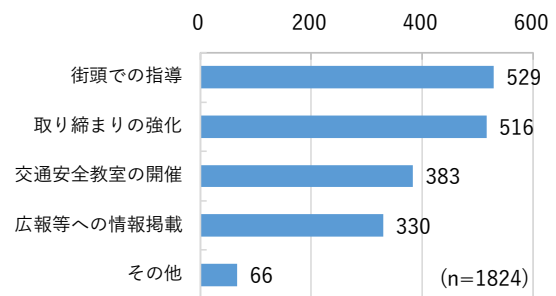
◇ 街頭での指導、取り締まりの強化が求められている。

「街頭での指導」が最も多く、回答者の半数以上の56.9%が回答した。次いで「取り締まりの強化」が55.5%で半数以上の回答であった。

「その他」としては、「免許制度の導入」、「罰則をつくる」、「学校での指導」、「自転車道・自転車専用レーンの整備」、「テレビ・ラジオでの呼びかけ」などが寄せられた。

	回答数	回答者比
街頭での指導	529	56.9%
取り締まりの強化	516	55.5%
交通安全教室の開催	383	41.2%
広報等への情報掲載	330	35.5%
その他	66	7.1%
回答数	1,824	—

(n=1824)



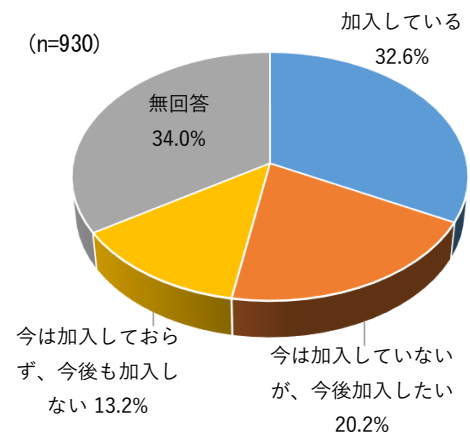
【問25】自転車保険について伺います。対人賠償（相手にケガ等を負わせてしまった場合の賠償）を補償する自転車保険（TSマーク・共済を含む）に加入していますか？（1つ選び○）

◇ 保険加入者は回答者の3割程度。今後加入したいが2割で保険への関心は比較的高い。

保険に「加入している」が32.6%で最も多かった。「今は加入していないが、今後加入したい」が20.2%で、「加入している」との合計は52.8%と半数を超えており、保険に対する関心の高さがうかがえる。

	回答数	比率
加入している	303	32.6%
今は加入していないが、今後加入したい	188	20.2%
今は加入しておらず、今後も加入しない	123	13.2%
無回答	316	34.0%
回答者数	930	100.0%

(n=930)



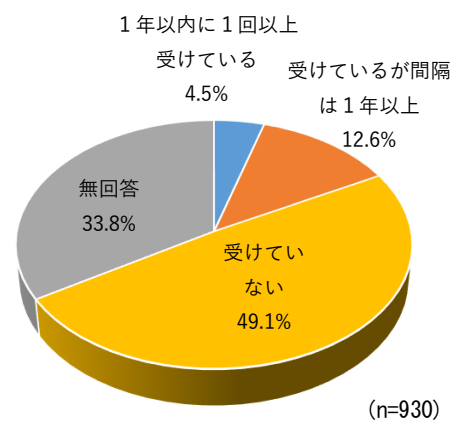
【問26】あなたは、自転車店などで自転車の点検・整備を受けていますか？（1つ選び○）

◇ 点検を受けている人は回答者の2割未満。

「受けていない」が49.1%と最も多く、回答者の半数近くであった。「1年以内に1回以上受けている」は4.5%、「受けているが間隔は1年以上」が12.6%で、この2つの合計が17.1%と点検を受けている人は2割未満であった。

	回答数	比率
1年以内に1回以上受けている	42	4.5%
受けているが間隔は1年以上	117	12.6%
受けていない	457	49.1%
無回答	314	33.8%
回答者数	930	100.0%

(n=930)



3-4. 自転車を活用したまちづくりについて

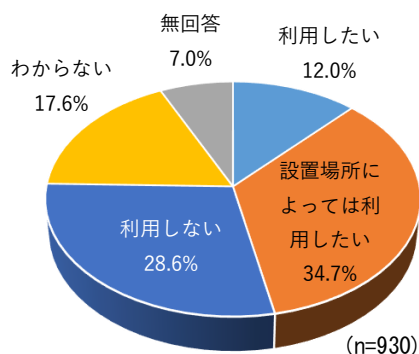
【問27】あなたは、長野市内にシェアサイクルが導入されたら利用したいと思いますか？
(1つ選び○)

◇ 利用の意向がある人が半数近く。

「設置場所によっては利用したい」が34.7%で、「利用したい」(12.0%)との合計は46.7%と、半数近くで利用の意向がみられた。「利用しない」は28.6%と約3割であった。

	回答数	比率
利用したい	112	12.0%
設置場所によっては利用したい	323	34.7%
利用しない	266	28.6%
わからない	164	17.6%
無回答	65	7.0%
回答者数	930	100.0%

(n=930)



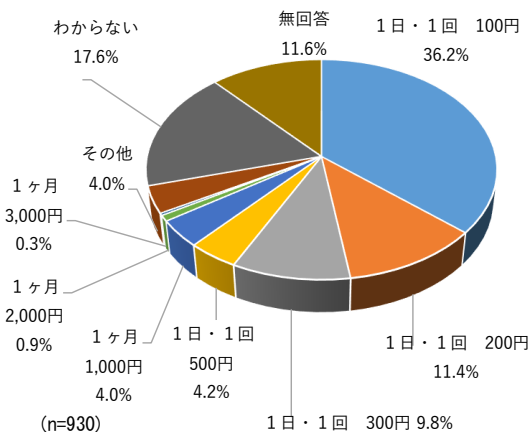
【問28】あなたは、シェアサイクルの利用料金が最大でどの程度なら利用したいと思いますか？ (1つ選び○)

◇ 1日・1回100円が最も多く4割弱の回答があった。

「1日・1回100円」が最も多く、36.2%と4割近い回答であった。選択肢の中で最も低価格のものが選択された傾向が考えられる。

	回答数	比率
1日・1回 100円	337	36.2%
1日・1回 200円	106	11.4%
1日・1回 300円	91	9.8%
1日・1回 500円	39	4.2%
1ヶ月 1,000円	37	4.0%
1ヶ月 2,000円	8	0.9%
1ヶ月 3,000円	3	0.3%
その他	37	4.0%
わからない	164	17.6%
無回答	108	11.6%
回答者数	930	100.0%

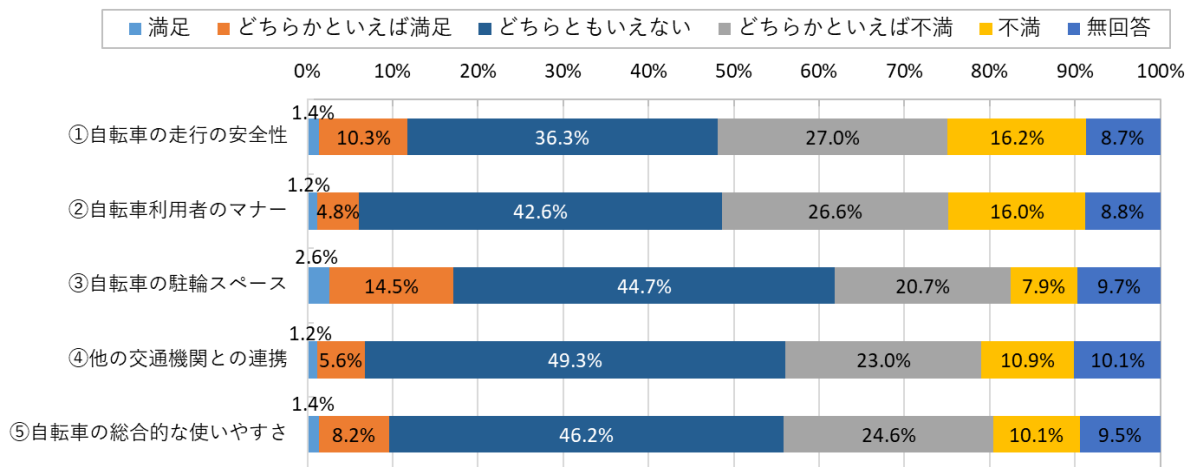
(n=930)



【問29】長野市の自転車に関する取り組みについて、それぞれの満足度はいかがですか？
(1つ選び○)

- ◇ 「自転車の駐輪スペース」が満足の数合いが比較的高い。
- ◇ 「自転車の利用者のマナー」が不満の数合いが比較的高い。
- ◇ 「自転車の走行の安全性」は満足、不満の両方の数合いが比較的高い。

いずれの項目も「どちらともいえない」が最も多い結果であった。満足の数合いが比較的高いのは「自転車の駐輪スペース」及び「自転車の走行の安全性」であった。一方、不満の数合いが比較的高いのは「自転車の走行の安全性」及び「自転車利用者のマナー」であった。



【問30】長野市の自転車を活用したまちづくりについて、ご意見・ご要望、ご提案などありましたら、ご自由にお書きください。

自由意見については現在整理中である。

第2章 高校生向けアンケート

1. 調査概要

1-1. 調査方法

調査は、学校を通じて自転車通学を行っている生徒へアンケート用紙を配布し、学校で回収していただく方法で行った。

1-2. 調査対象高校

調査対象は、長野市内の高校で自転車通学の生徒がいる以下を対象とした。

調査対象の高校等一覧

地域区分	高校名（順不同）
長野都市計画区域内	<ul style="list-style-type: none">・長野工業高校・長野高校・長野商業高校・長野女子高・長野西高校・長野東高校・長野吉田高校・更級農業高校・松代高校・国立長野高専・長野俊英高校・市立長野高校・長野清泉女学院高校・長野日大高校・長野南高校・文化学園長野高校・篠ノ井高校
中条地域・信州新町地域	<ul style="list-style-type: none">・長野西高校中条校・篠ノ井高校犀峽校

1-3. 回収数

回収数は1,026件であった。

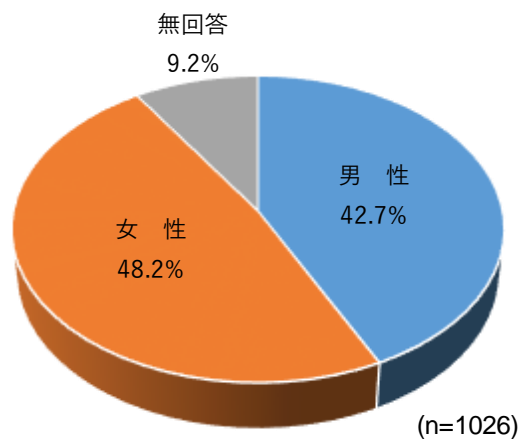
2. 回答者属性

2-1. 性別

男性 42.7%、女性が 48.2%で女性の方が多かった。

	回答数	比率
男 性	438	42.7%
女 性	494	48.2%
無回答	94	9.2%
回答者数	1,026	100.0%

(n=1026)

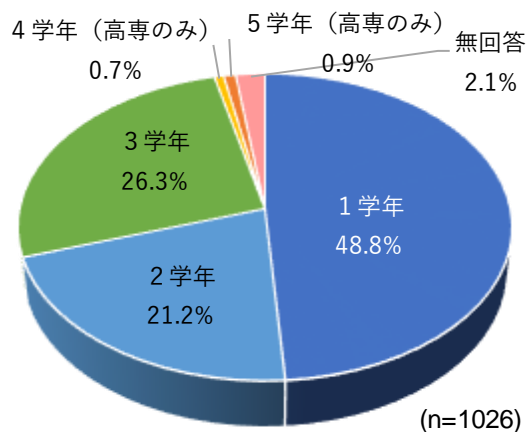


2-2. 学年

1 学年が 48.8%と半数近くを占めた。2 学年が 21.2%、3 学年が 26.3%であった。

	回答数	比率
1 学年	501	48.8%
2 学年	217	21.2%
3 学年	270	26.3%
4 学年 (高専のみ)	7	0.7%
5 学年 (高専のみ)	9	0.9%
無回答	22	2.1%
回答者数	1,026	100.0%

(n=1026)



2-3. 居住地区

回答者の居住地区を下表に示す。市内では、篠ノ井地区が最も多く、12.0%であった。次いで川中島地区（10.1%）、更北地区（7.3%）の順に多く、市民向けアンケートと同様の傾向であった。なお、市外は17.3%であった。

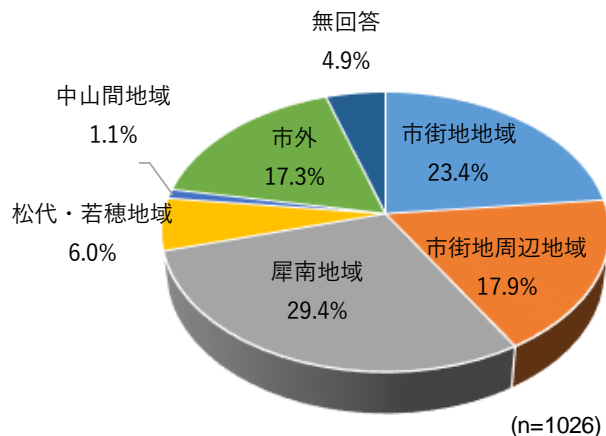
表 地区別回収数

地域	地区	回答数	比率	地域	地区	回答数	比率	地域	地区	回答数	比率	
市街地	第一	17	1.7%	市街地周辺	古里	31	3.0%	※1	松代	34	3.3%	
	第二	14	1.4%		柳原	16	1.6%		若穂	28	2.7%	
	第三	9	0.9%		浅川	10	1.0%	中山間	小田切	1	0.1%	
	第四	2	0.2%		大豆島	41	4.0%		芋井	0	0.0%	
	第五	1	0.1%		朝陽	29	2.8%		七二会	0	0.0%	
	芹田	29	2.8%		若槻	40	3.9%		信更	1	0.1%	
	古牧	50	4.9%		長沼	2	0.2%		戸隠	1	0.1%	
	三輪	40	3.9%		豊野	15	1.5%		鬼無里	1	0.1%	
	吉田	36	3.5%		犀南	篠ノ井	123		12.0%	大岡	0	0.0%
	安茂里	42	4.1%			川中島	104		10.1%	信州新町	5	0.5%
			更北	75		7.3%	中条		2	0.2%		
			市外		177	17.3%			無回答	50	4.9%	

※1：松代・若穂地域

地域別では、犀南地域が最も多く、29.4%と3割近くであった。次いで市街地地域（23.4%）、市街地周辺地域（17.9%）の順であった。

	回答数	比率
市街地地域	240	23.4%
市街地周辺地域	184	17.9%
犀南地域	302	29.4%
松代・若穂地域	62	6.0%
中山間地域	11	1.1%
市外	177	17.3%
無回答	50	4.9%
	1,026	100.0%



3. 集計結果

3-1. 通学時の自転車の利用状況について

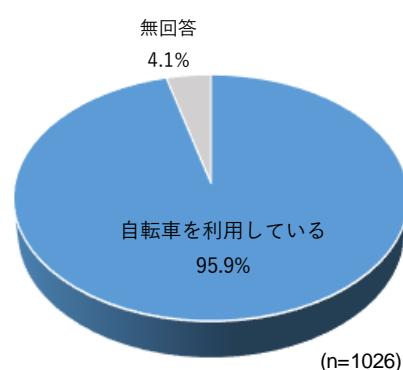
【問4】あなたは、通学時にどの区間で自転車を利用していますか？

◇ 「自宅～学校」の利用が多く、距離は5km未満で約6割。

「自宅～学校」「自宅～最寄り駅・バス停」「最寄り駅・バス停～学校」のいずれかで自転車を使用していると回答した方は95.9%であった。

	回答数	比率
自転車を利用している	984	95.9%
無回答	42	4.1%
回答者数	1,026	100.0%

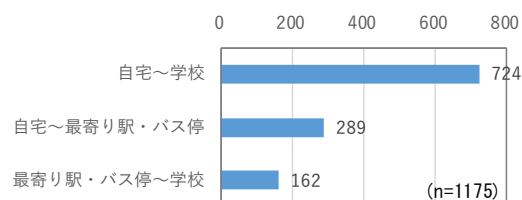
(n=1026)



自転車を利用している区間の内訳は、「自宅～学校」が回答者の70.6%と7割近くであった。「自宅～最寄り駅・バス停」は28.2%、「最寄り駅・バス停～学校」は15.8%であった。

	回答数	回答者比
自宅～学校	724	70.6%
自宅～最寄り駅・バス停	289	28.2%
最寄り駅・バス停～学校	162	15.8%
回答者数	1,175	—

(n=1175)

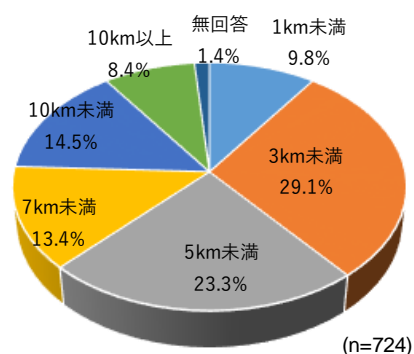


「自宅～学校」で自転車を利用している方の距離は、「3km未満」が最も多く、29.1%と回答者の約3割であった。次いで「5km未満」が23.3%であり、「1km未満」(9.8%)と合わせて5km未満までで約6割であった。

自宅～学校の距離

	回答数	比率
1km未満	71	9.8%
3km未満	211	29.1%
5km未満	169	23.3%
7km未満	97	13.4%
10km未満	105	14.5%
10km以上	61	8.4%
無回答	10	1.4%
回答者数	724	100.0%

(n=724)

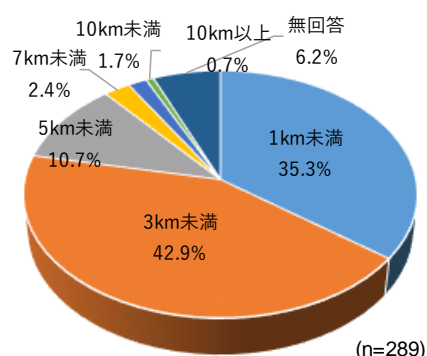


「自宅～最寄り駅・バス停」、「最寄り駅・バス停～学校」でも「3km未満」が最も多かった。

自宅～最寄り駅・バス停の距離

	回答数	比率
1km未満	102	35.3%
3km未満	124	42.9%
5km未満	31	10.7%
7km未満	7	2.4%
10km未満	5	1.7%
10km以上	2	0.7%
無回答	18	6.2%
回答者数	289	100.0%

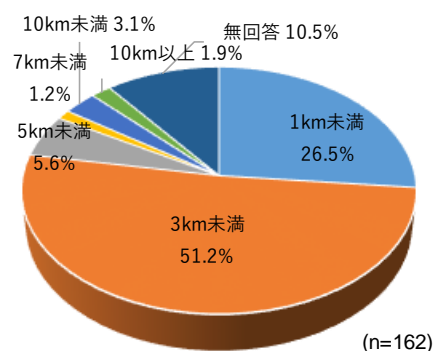
(n=289)



最寄り駅・バス停～学校の距離

	回答数	比率
1km未満	43	26.5%
3km未満	83	51.2%
5km未満	9	5.6%
7km未満	2	1.2%
10km未満	5	3.1%
10km以上	3	1.9%
無回答	17	10.5%
回答者数	162	100.0%

(n=162)



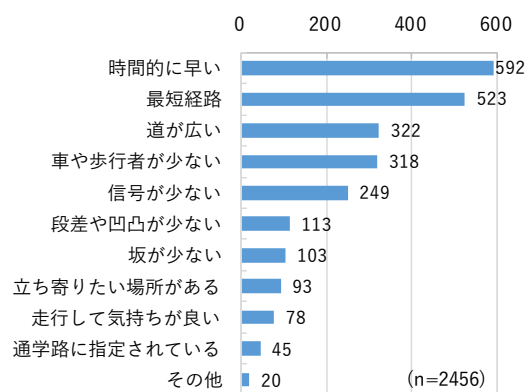
【問5】あなたは自転車の走行ルートを選ぶ際にどのような点を重視しますか？
(3つまで選び○)

◇ 時間的に早い、または最短経路が選択されている。

「時間的に早い」が最も多く、回答者の57.7%と半数以上が回答した。2番目に多かった「最短経路」も51.0%と半数以上であった。次いで「道が広い」(31.4%)、「車や歩行者が少ない」(31.0%)の順であった。

	回答数	回答者比
時間的に早い	592	57.7%
最短経路	523	51.0%
道が広い	322	31.4%
車や歩行者が少ない	318	31.0%
信号が少ない	249	24.3%
段差や凹凸が少ない	113	11.0%
坂が少ない	103	10.0%
立ち寄りやすい場所がある	93	9.1%
走行して気持ちが良い	78	7.6%
通学路に指定されている	45	4.4%
その他	20	2.0%
回答数	2,456	—

(n=2456)



【問6】あなたが普段自転車で走行する経路を教えてください。

この設問では、地図指摘として調査票に掲載した地図へ実際の走行ルートを直接記入する方法で回答していただいた。回答については現在集計・整理中である。

3-2. 安全で快適な自転車の利用について

【問7】あなたは、自転車で走行する時にどのような危険を感じますか？
(あてはまるもの全て選び○)

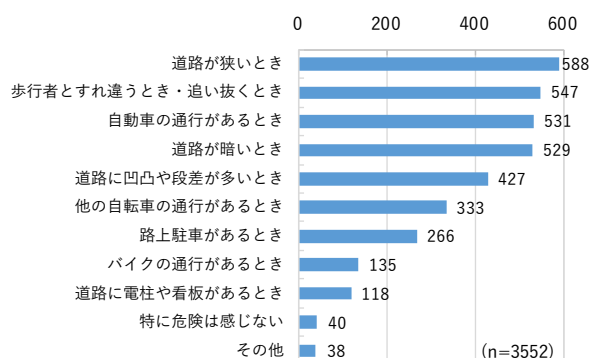
◇ 道路が狭いときや歩行者・自動車と輻輳する場合などで危険を感じている。

「道路が狭いとき」が最も多く、回答者の57.3%と半数以上が回答した。また、「歩行者とすれ違うとき・追い抜くとき」(53.3%)、「自動車の通行があるとき」(51.8%)、「道路が暗いとき」(51.6%)も半数以上の回答があった。

「その他」としては、「右側走行の自転車」、「歩道がない道」、「小学生を追い越す時」、「雨天・凍結」、「並列走行」、「店などから出てくる車」などの意見が寄せられた。

	回答数	回答者比
道路が狭いとき	588	57.3%
歩行者とすれ違うとき・追い抜くとき	547	53.3%
自動車の通行があるとき	531	51.8%
道路が暗いとき	529	51.6%
道路に凹凸や段差が多いとき	427	41.6%
他の自転車の通行があるとき	333	32.5%
路上駐車があるとき	266	25.9%
バイクの通行があるとき	135	13.2%
道路に電柱や看板があるとき	118	11.5%
特に危険は感じない	40	3.9%
その他	38	3.7%
回答数	3,552	—

(n=3552)



【問8】あなたは、長野市内を自転車で走行するときに危険だと思う箇所がありますか？

この設問は、問6と同様に調査票に掲載した地図へ危険箇所を直接記入する方法で回答していただいた。回答については現在集計・整理中である。

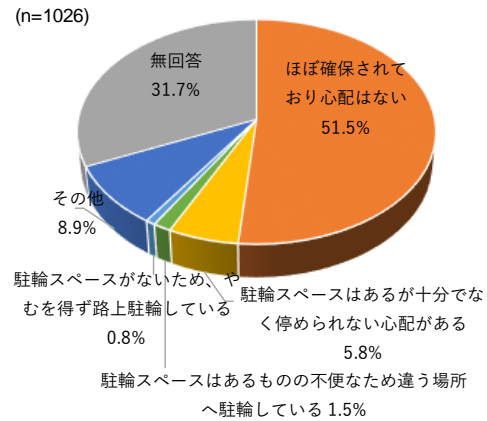
【問9】通学時に利用する最寄りの駅・バス停には、自転車駐輪スペースが確保されていますか？（1つ選び○）

◇ 駐輪スペースは半数が心配していない。

「ほぼ確保されており心配はない」が51.5%と約半数が回答した。「駐輪スペースはあるが十分でなく止められない心配がある」が5.8%、「駐輪スペースはあるものの不便なため違う場所へ駐輪している」が1.5%であった。

	回答数	比率
ほぼ確保されており心配はない	528	51.5%
駐輪スペースはあるが十分でなく止められない心配がある	59	5.8%
駐輪スペースはあるものの不便なため違う場所へ駐輪している	15	1.5%
駐輪スペースがないため、やむを得ず路上駐輪している	8	0.8%
その他	91	8.9%
無回答	325	31.7%
回答者数	1,026	100.0%

(n=1026)



【問10】駐輪スペースで整備してほしい設備はどのようなものですか？（あてはまるもの全て選び○）

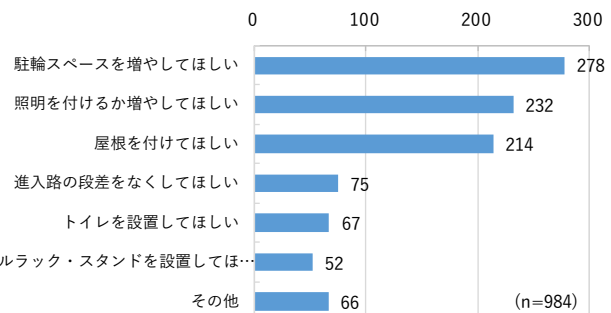
◇ 駐輪スペースの増設、照明、屋根への要望が多い。

「駐輪スペースを増やしてほしい」が最も多く、回答者の27.1%が回答した。次いで「照明を付けるか増やしてほしい」（22.6%）、「屋根を付けてほしい」（20.9%）の順であった。

「その他」としては、「虫が入らないようにしてほしい」、「サイクルラックにはロードバイクなどの自転車が入らない」、「喫煙所の煙が来ないようにしてほしい」、「自転車の止め方が乱雑」、「空気入れがほしい」などの意見が寄せられた。

	回答数	回答者比
駐輪スペースを増やしてほしい	278	27.1%
照明を付けるか増やしてほしい	232	22.6%
屋根を付けてほしい	214	20.9%
進入路の段差をなくしてほしい	75	7.3%
トイレを設置してほしい	67	6.5%
サイクルラック・スタンドを設置してほしい	52	5.1%
その他	66	6.4%
回答者数	984	—

(n=984)

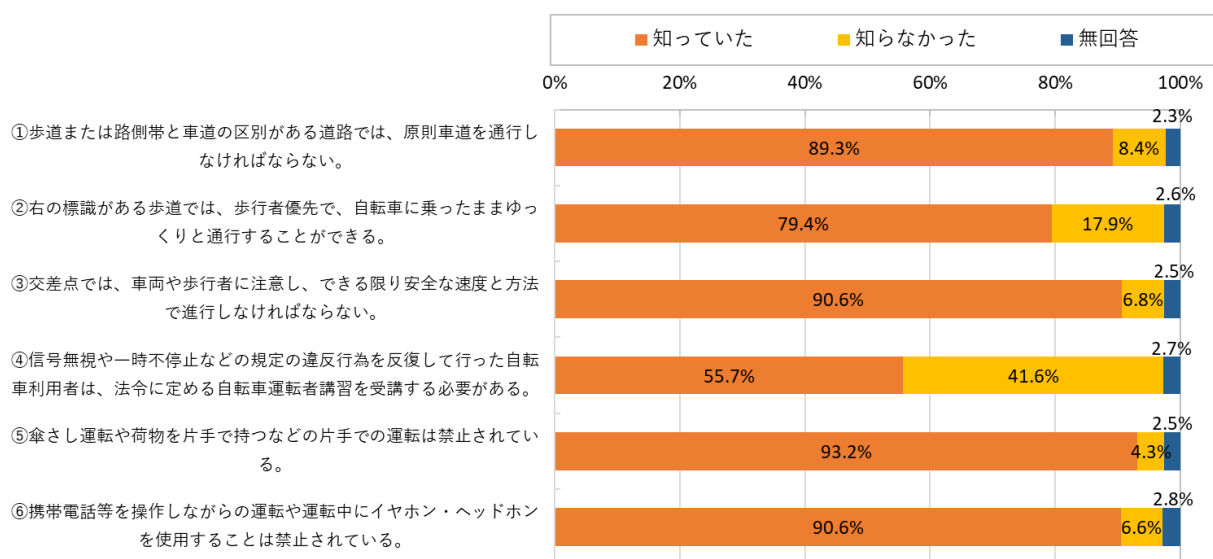


3-3. 自転車を利用する上での安全の確保について

【問 1 1】あなたは、以下の自転車の交通ルールを知っていますか？（1つ選び○）

◇ 全体的に認知度は高い。

自転車の交通ルールについては全体的に認知されており、全ての項目で「知っている」が50%以上であった。「⑤信号無視や一時不停止などの規定の違反行為を反復して行った自転車利用者は、法令に定める自転車運転者講習を受講する必要がある。」は「知っている」が55.7%であり、市民（27.5%）よりも高かった。



【問 1 2】自転車のルールやマナーを向上させるために、あなたはどのような取り組みが必要だと思いますか？（3つまで選び○）

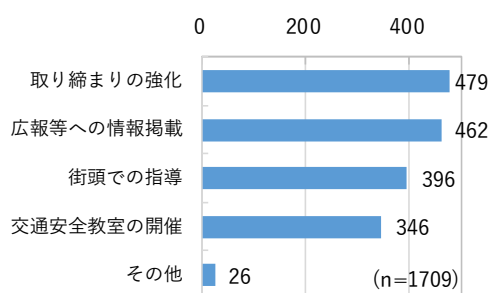
◇ 取り締まりの強化、広報等への情報掲載が多かった。

「取り締まりの強化」が最も多く、回答者の 46.7%と半数近くが回答した。次いで「広報等への情報掲載」（45.0%）、「街頭での指導」（38.6）の順であった。

「その他」としては、「ルール違反の厳罰化」、「みんなが気をつける」、「ヘルメット着用」、「警察官による指導」、「学校の開始を遅らせて車の混雑時と重ならないようにする」などの意見が寄せられた。

	回答数	回答者比
取り締まりの強化	479	46.7%
広報等への情報掲載	462	45.0%
街頭での指導	396	38.6%
交通安全教室の開催	346	33.7%
その他	26	2.5%
回答者数	1,709	—

(n=1709)



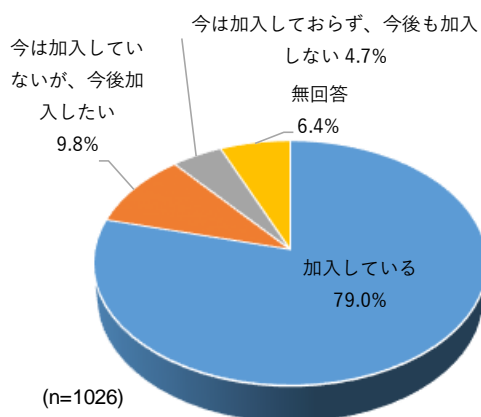
【問 1 3】自転車保険について伺います。対人賠償（相手にケガ等を負わせてしまった場合の賠償）を補償する自転車保険（TS マーク・共済を含む）に加入していますか？（1つ選び○）

◇ 8割近くが保険へ加入している。

「加入している」が 79.0%と回答者の 8割近くであった。学校で保険の紹介が行われていることから、加入率が高いものと考えられる。「今は加入していないが、今後加入したい」は 9.8%、「今は加入しておらず、今後も加入しない」は 4.7%であった。

	回答数	比率
加入している	811	79.0%
今は加入していないが、今後加入したい	101	9.8%
今は加入しておらず、今後も加入しない	48	4.7%
無回答	66	6.4%
回答者数	1,026	100.0%

(n=1026)



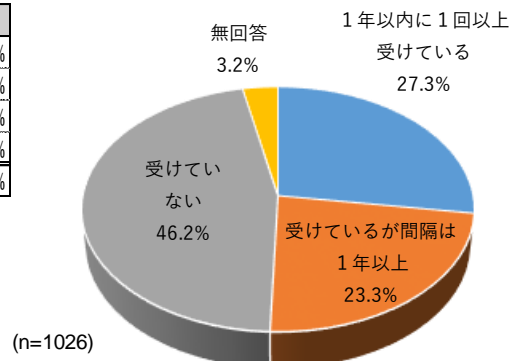
【問14】あなたは、自転車店などで自転車の点検・整備を受けていますか？（1つ選び○）

◇ 点検・整備を受けているのは約半数。

「1年以内に1回以上受けている」は27.3%、「受けているが間隔は1年以上」は23.3%で、「受けている」の合計は50.6%であった。「受けていない」は46.2%であった。

	回答数	比率
1年以内に1回以上受けている	280	27.3%
受けているが間隔は1年以上	239	23.3%
受けていない	474	46.2%
無回答	33	3.2%
回答者数	1,026	100.0%

(n=1026)

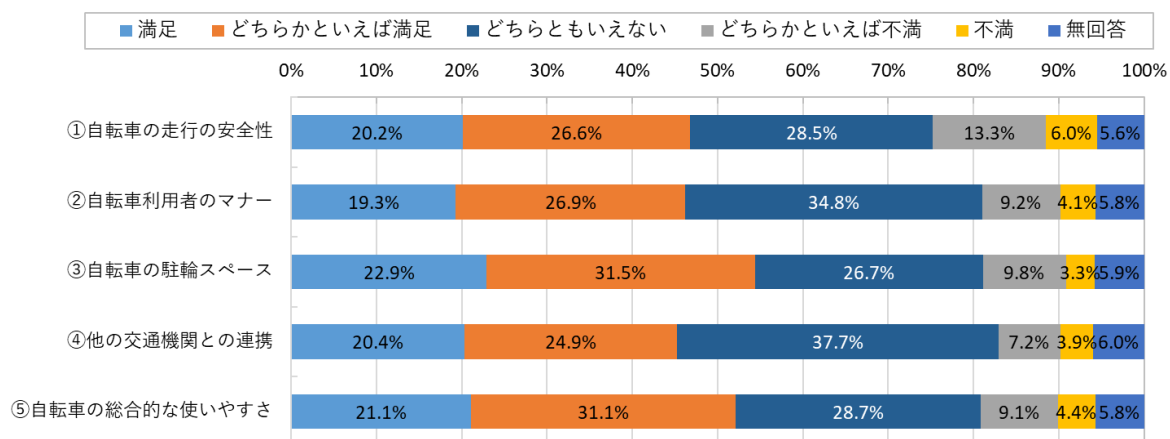


3-4. 自転車を活用したまちづくりについて

【問15】長野市の自転車に関する取り組みについて、それぞれの満足度はいかがですか？
(1つ選び○)

- ◇ 「自転車の駐輪スペース」が満足の数合いが比較的高い。
- ◇ 「自転車の走行の安全性」が不満の数合いが比較的高い。
- ◇ 「自転車の総合的な使いやすさ」は満足、不満の両方の数合いが比較的高い。

いずれの項目も「どちらともいえない」が最も多い結果であった。満足の数合いが比較的高いのは「自転車の駐輪スペース」及び「自転車の総合的な使いやすさ」であった。一方、不満の数合いが比較的高いのは「自転車の走行の安全性」及び「自転車の総合的な使いやすさ」であった。



【問16】長野市の自転車を活用したまちづくりについて、ご意見・ご要望、ご提案などありましたら、ご自由にお書きください。

自由意見については現在整理中である。